

2021/4/3(土) 残雪山行(福地山 1671m)

メンバー: L 谷内、野中、岩田、福田、辻、結城

昨年天候不良で行かれなかった福地山に一年越しの残雪山行となった。

朝 8:00 奥飛騨温泉郷、福地山温泉の駐車場にはすでに 3 台車があった。山奥の温泉地ではあるが沢山の温泉宿があり、それぞれなかなかりっぱな建物で驚かされる。

駐車場から登山口に向かう途中に朝市の旗がたなびいていたが流石にこの季節でこの時間の開店は無理な様子。気温もそれほど寒くなく最初から薄着でのスタートとなる。

登山口からすぐにつづら折りの緩やかな登山道が続く。今年は春が早くいつもなら雪でおおわれているはずの登山道も全く雪は無く、登山道脇に設置されていたネットに水が霧状に噴射されていた。冬の間、氷壁が作られていた模様で氷柱のなごりが僅かに残っていたが、今朝の気温では凍るはずもなくもう停めたらいいのにとと思う。

30 分ほど登ると右手に雪を頂いた焼岳が大きく見えた。岩の間から白煙が上がっている。

ダンコウバイ、キブシ、足元にはフキノトウと山は一気に春山へと変身していた。まもなく焼岳展望小屋を通過。結構な急斜面に杉の樹林帯ではあるが、道は斜めにくねくねと緩やかなつづれ折り、15 分程で谷川コース、尾根コースの道標が現れた。尾根コースの途中から待望? の残雪が現れ無然平を目指す。木々の間から北アルプスの峰々が見える。真っ青な空を背景に黒々とした槍、真っ白な中岳、南岳、涸沢岳、奥穂、西穂、前穂へと白銀の峰々が連なり、今日の目的は達したか。ほどなくして第一展望台に到着。大展望に感激しながら登っていくと間もなく無然平に到着。かわいらしい石像が鎮座しており飛騨地方の教育者、篠原無然の石像だそうだ。この方の名前を拝借した名前だったのね。しばらく行くと再び谷川コース、尾根コースの分岐となりいきなりの急登、尾根コースを目指す。一気に急登になり汗だくとなる。痩せ尾根を登り第二展望台、第四展望台を超え乗鞍展望台を通過。そろそろ山頂かと思いきやこれが一向に着かない。まだかまだかと思いつつやつのこと山頂に到着。北アルプスの見事な大展望に思わず歓声上がる。しばし山の名前を確認しながら大展望を堪能する。



広々とした山頂で持ち寄った食材を堪能。登山者も何組か増え賑やかな昼食風景となる。景色もお腹も満腹となり大満足。谷川コースで下山へと向かう。朝は締まっていた残雪が緩んで滑り易くなっており、ときどきズルっと足を取られる。かなり気を付けて足を運んでいたつもりだったがあと少しのところで転びそうになり踏ん張った結果、左足首に違和感が走った。「やっちゃったかな?!」軽い捻挫の模様。テーピングを施し、荷物をもってもらい何とか下山。

あ〜あ。残雪山行は又してもトラウマとなった。

源泉かけ流し 300 円の石動の湯(いするぎのゆ)に入り、お肌つるつる、大満足。朝は閉店していた朝市のお店が開店していた。今年は春が早く、想像していたよりも雪が少なかった。

【コースタイム】 天気:快晴→午後雲が出てきた

福地山温泉駐車場 8:00～焼岳展望小屋～第一展望台～第二展望台～乗鞍展望台～
山頂 11:00 大休憩 11:40 出発～13:20 福地山温泉駐車場

篠原無然の石像



ダンコウバイ



マンサク

